

全国福祉用具専門相談員協会

新理事長に岩元文雄氏選任

ポイント制度の運用呼びかける



挨拶する岩元文雄新理事長

全国福祉用具専門相談員協会（いふくせし）は7月22日に理事会を開催し、故山下一平氏の後を受けカクイックスウィング（鹿児島県）社長・岩元文雄氏を新

理事長に選任した。同日開催の「福祉用具専門相談員の研修ポイント制度」研修実施者説明会にて発表。また副理事長にはエイゼツト（千葉県）社長・畔上加代子氏と総合メディアカル（大阪府）社長・酒井博人氏が選ばれた。

岩元氏は1964年6月13日生まれの49歳。85年3月青山学院大学卒業。著書に「福祉用具のちから」(簡井書房、11年)。同氏はこの日の挨拶で「故山下理事長は福祉用具業界と専門相談員を力強く牽引してきた。その後任とすることで身が引き締まる思い」と決意を述べ、研修ポイント制度について「まずは制度が順調にスタートし、全国各地

で多くの研修実施と認証が進むようお力添えいただきたい」と参加者へ呼びかけた。同制度は福祉用具専門相談員の専門性を確保するため、継続的な現任研修を評価する仕組み。研修の受講実績に応じてポイントを付与し公表することで利用者にとってサービス価値の判断材料の一つになる。

また研修実施者は研修内容と同協会の認証審査会へ申請し、ポイント付与対象の研修となるか否かの審査を受ける。受講修了の事実が確認できる修了証などの提出が申請要件となる。同制度は10月1日より運用がはじまる。9月に認証審査会が開かれ、申請案件の一括審査が行われる。